

## アソカ講話026

### テーマ「水の生き方」

水の性質は様々ある。水は入れ物の形によって、形が変わる。また、川の傾斜、大きさに合わせて流れる早さも変わる。ある時は小川のせせらぎ、ある時は岩をも押し流す濁流。しかし、水の性質が変わることはない。周りの環境に合わせてながら、自分を失うことがないのである。

人間関係や職場環境において起こるトラブルの一つは、自己主張が過ぎるということがある。「どうして分かってくれないのか、自分を評価してほしい」と思う気持ちは分かるが、過ぎると相手に過度の欲求をすることになり、かえって相手から評価されなくなる。

もし、水が自己主張して、「四角な形しかない」と水が言ったら、水はその力を発揮できるだろうか。一万分の一も発揮できないのだろう。自己主張せず相手に合わすことで、実は一番自分の力を発揮しているのが水の生き方である。

人間関係で悩むことがあったら、いたずらに自分を主張するのではなく、その場に合わせて生きてみることに自分を活かす道がないか考えてみよう。そうすると小さな自分を捨てることで大きな自分を得る道であると気づくでしょう。